

## 事業所における自己評価結果(公表) 【放課後等デイサービス】

公表： 令和4年2月28日

事業所名： 多機能型事業所ホープみさかえ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				・活動の状況や利用人数に合わせて、体育館や園庭を利用したり、部屋を移動するなど工夫している。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○				・利用人数により、支障のない範囲で他部署スタッフを応援配置することもある。	・基準上の適正な配置は遵守しつつ、利用状況に合わせて、臨機応変な対応をとることとする。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				・バリアフリー化はできているが、他に危険箇所がないか点検を心がけている。	
業務改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				・毎日、前日の振り返りと、当日の活動と目標の確認をしている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				・アンケートを実施、内容をしっかり確認する。	・確認だけではなく、業務改善にしっかりと繋げていくこと。
適切な支援の提供	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				・ホームページでアップして公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○			・今後検討する。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				・月1回の施設内研修を実施している。 ・外部研修も受け、伝達研修も実施している。(外部研修はコロナの関係で、リモート研修が多い)	・できるだけ外部研修の受講機会を増やしていきたい。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				・児童発達支援管理責任者(以後、「児発管」と記す)が保護者からの聞き取りで計画するが、スタッフの意見も踏まえ、計画を作成する。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				・保護者同意のもと、アセスメントツールの結果を知らせて頂いている。	・アセスメントツールの導入を検討したい。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				・リーダーが立案し、スタッフと見直しをしている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				・様々な活動が提供できるように、アイデアをみんなで出し合うようにしている。	・充分とは言えない状況にある。インターネット情報なども活用したい。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				・できるだけ重複しないように、またマンネリ化しないように活動内容の設定を心がけるようにしている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				・週の中で個別・集団と分け、計画している。 また、個々のその日の状況に合わせて活動をするようにしている。	
	15 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				・事前打ち合わせで、内容把握や役割分担、準備物の確認をしている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				・当日時間に余裕がない場合は、翌日に振り替えりの時間を設けて、気づいた点や改善点を共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				・日々の正しい記録と反省点や改善点も記録するよう心掛けている。	・記録の検証を行い、改善に繋げることとする。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				・児発管を中心にモニタリングを行い、定期的に見直しを図っている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○				・個別支援計画の段階で組み合わせ支援を計画している。	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児発管を中心に、子どもの状況を踏まえ、必要に応じて参加するようにしている。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・行事予定表等を頂いている。 ・送迎時等にその都度、連絡をとっている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・主治医との直接的な連絡は取っていない。通院の後など保護者から、診察状況を聞いて対応している。	・保護者とも連携のうえ、必要に応じて連絡をとることとする。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・就学前にモニタリングや担当者会議を行い、共有している。 ・支援シートなどで情報共有を図っている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・行ってきた支援内容や利用児の様子をまとめ、情報提供している。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・担当者会議や研修等で連携をとるよう心がけている。	・コロナ禍で会議や研修会が中止されたり、縮小されたりで、連携が取りにくい状況がある。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		・コロナの影響で交流がない。落ち着いたら活動に取り入れたい。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・部会員で参加している。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡帳や送迎時に話しをして、できるだけ共通理解ができるよう努めている。また、内容は職員で共有するようにしている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っているか			○	・実施に向け準備中	・令和4年度は実施することを計画している。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に行ってている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・送迎時等気軽に話をし、相談等を受けやすい雰囲気つくりや、誠意をもって対応するよう心がけている。	・丁寧に誠意をもって対処することを目標とする。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		・保護者の方もそれぞれ仕事もあり、休日は子どもさんのお世話で忙しかったりで、保護者会を作るには難しい状況にある。またコロナ禍もあり、行事等も開催できず、なかなか保護者の皆様が顔を合わせる機会がない状況である。行事等実施できるようになれば、連携できるよう配慮したい。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情対応窓口は設置しており、迅速かつ適正に対応している。	・苦情を受けることがないように、さらにサービスの向上を目指すとともに、苦情に対しては、謙虚に誠意ある対応をする徹底するよう努めることとする。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・月1回の部署ごとの便りと、年4回の事業所便りを発行して、活動状況や行事予定などをお知らせしている。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			・十分に注意して扱っている。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・絵カードや文字盤、ジェスチャーなど、本人にあったものを複数用意し対応している。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				・コロナの影響で行事等も開催ができず、交流が図れる機会がない。今後コロナが落ち着けば、交流が図れるよう配慮ていきたい。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	<input type="radio"/>			・その都度お願いをしている。	・充分な対応となっていない。今後充実を図ることとしたい。」
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>			・月1回、避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>			・年2回は施設内研修を実施。事例等あつたらその都度報告をし、注意喚起を行っている。	・部外研修にも積極的に参加できるよう配慮する。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	<input type="radio"/>			・利用児の様子により、身体拘束の必要性を感じる場合は、スタッフで充分検討したうえで、事前に保護者に確認を取り、利用児のその時の状況によって拘束するかは判断するため、計画に記載はしていない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>			・契約時に保護者に確認し対応している。 ・アレルギーのある子どもがいる場合、職員が周知して別の食べ物を提供するなど対応している。	・保護者に確認をし、医師の指示書をもらう必要があれば、もらったうえで充分な対応をする。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>			・ヒヤリハットの報告書を作成し、会議で報告し、その後ファイリングして、いつでも確認できるようにしている。	・部署内検討後、全体への周知、更なる検討へつなげている。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)

